

令和5年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の概要について



令和6年10月31日
千葉県教育庁教育振興部
児童生徒安全課
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸課題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、暴力行為、いじめ、長期欠席、公立高等学校の中途退学、自殺に関する令和5年度調査の本県分（千葉市を含む公立学校）を取りまとめたものです。

■ 主な調査結果の前年度比較

項目	令和5年度	令和4年度	増減
暴力行為の発生件数	7,263件	6,840件	423件増加
いじめの認知件数	54,455件	52,720件	1,735件増加
小・中・義務教育・中等教育学校不登校児童・生徒数	14,300人	12,082人	2,218人増加
高等学校不登校生徒数	3,108人	2,816人	292人増加
中途退学者数	999人	859人	140人増加

1 調査項目及び対象

(1) 暴力行為

県内全公立小・中・義務教育・中等教育・高等学校

(2) いじめ

県内全公立小・中・義務教育・中等教育・高等学校及び特別支援学校

(3) 小学校及び中学校における長期欠席の状況等

県内全公立小・中・義務教育・中等教育学校

(4) 高等学校における長期欠席の状況等

県内全公立高等学校

(5) 高等学校における中途退学者数等の状況

県内全公立高等学校

(6) 自殺

県内全公立小・中・義務教育・中等教育・高等学校

※義務教育学校においては、前期課程は小学校に、後期課程は中学校に計上

2 調査対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間

3 調査結果の概要

(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は7, 263件で、前年度の6, 840件より423件増加。 ※P7表1, P9

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は5, 636件で、前年度の5, 599件より37件増加している。

中学校における発生件数は1, 463件で、前年度の1, 165件より298件増加している。

高等学校における発生件数は164件で、前年度の76件より88件増加している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は253件で、前年度の441件より188件減少している。中学校における発生件数は78件で、前年度の66件より12件増加している。高等学校における発生件数は7件で、前年度の3件より4件増加している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は5, 085件で、前年度の4, 895件より190件増加している。中学校における発生件数は1, 128件で、前年度の926件より202件増加している。高等学校における発生件数は109件で、前年度の50件より59件増加している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は3件で、前年度の1件より2件増加している。中学校における発生件数は10件で、前年度の7件より3件増加している。高等学校における発生件数は5件で、前年度の2件より3件増加している。

(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は295件で、前年度の262件より33件増加している。中学校における発生件数は247件で、前年度の166件より81件増加している。高等学校における発生件数は43件で、前年度の21件より22件増加している。

(2) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は54, 455件で、前年度の52, 720件より1, 735件増加。

※P7表2, P10~14

ア 校種別認知件数

(ア) 小学校における認知件数は、46, 584件で、前年度の45, 316件より1, 268件増加している。

(イ) 中学校における認知件数は6, 857件で、前年度の6, 489件より368件増加している。

(ウ) 高等学校における認知件数は860件で、前年度の732件より128件増加している。

(エ) 特別支援学校における認知件数は154件で、前年度の183件より29件減少している。

イ いじめの現在の状況

いじめの現在の状況（令和6年3月31日現在）としては、「解消しているもの」が42,945件で、全認知件数の78.9%、「解消に向けて取組中」が11,480件で21.1%、「その他」が30件で0.06%である。

ウ いじめの発見のきっかけ

(ア) 小学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（71.2%）、②本人からの訴え（11.7%）、③学級担任が発見（8.1%）である。

(イ) 中学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（45.5%）、②本人からの訴え（26.0%）、③当該児童生徒の保護者の訴え（10.2%）である。

(ウ) 高等学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（53.0%）、②本人からの訴え（24.8%）、③学級担任が発見（7.2%）である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（55.2%）、②学級担任が発見（33.8%）、③本人からの訴え（5.2%）である。

エ いじめられた児童生徒の相談の状況

(ア) 小学校の児童の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談（89.4%）、②保護者や家族等に相談（17.7%）、③友人に相談（4.5%）である。

(イ) 中学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談（82.3%）、②保護者や家族等に相談（22.5%）、③学級担任以外の教職員に相談（15.7%）である。

(ウ) 高等学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談（65.7%）、②学級担任以外の教職員に相談（31.6%）、③保護者や家族等に相談（15.3%）である。

(エ) 特別支援学校の児童生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談（97.4%）、②保護者や家族等に相談（9.7%）、③学級担任以外の教職員に相談（8.4%）である。

オ いじめの態様

(ア) 小学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等（58.4%）、②軽くぶつかられる、たたかれる等（28.4%）、③仲間はずれ、集団による無視（16.1%）である。

(イ) 中学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等（64.2%）、②軽くぶつかられる、たたかれる等（14.3%）、③仲間はずれ、集団による無視（12.4%）である。

(ウ) 高等学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等（52.2%）、②仲間はずれ、集団による無視（15.2%）、③パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる（14.2%）である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等（34.4%）、②軽くぶつかられる、たたかれる等（33.1%）、③嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする（22.7%）である。

カ 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめ重大事態の発生件数は、第1号67件、第2号60件、計102件。（第1号かつ第2号25件）

(3) 小学校における長期欠席児童数は12,173人で、全児童に対する割合は4.10%である。長期欠席児童の中で不登校を理由としている児童数は5,713人で、前年度の4,600人より1,113人増加し、全児童に対する割合は1.93%で0.40ポイント増加。

中学校における長期欠席生徒数は12,177人で、全生徒に対する割合は8.34%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は8,587人で、前年度の7,482人より1,105人増加し、全生徒に対する割合は5.88%で0.79ポイント増加。 ※P8表4, P15~P19

※不登校児童生徒数（令和5年度に通算して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数）

ア 長期欠席者の状況

(ア) 小学校の長期欠席者12,173人のうち、「病気」は4,412人で長期欠席者全体に占める割合は36.2%、「経済的理由」は0人、「不登校」は5,713人で長期欠席者全体に占める割合は46.9%、「その他」は2,048人で長期欠席者全体に占める割合は16.8%である。

(イ) 中学校の長期欠席者12,177人のうち、「病気」は2,902人で長期欠席者全体に占める割合は23.8%、「経済的理由」は0人、「不登校」は8,587人で、長期欠席者全体に占める割合は70.5%、「その他」は688人で長期欠席者全体に占める割合は5.7%である。

イ 不登校児童生徒の欠席の状況

(ア) 小学校の不登校児童で「うち、50日以上欠席している者」の割合は71.4%、「うち、90日以上欠席している者」の割合は46.4%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は7.7%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は2.2%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「うち、50日以上欠席している者」の割合は82.1%、「うち、90日以上欠席している者」の割合は62.5%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は12.6%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は4.3%である。

ウ 不登校児童生徒への指導結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「指導の結果登校する又はできるようになった児童」の割合は、25.9%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、26.3%である。

エ 不登校児童生徒について把握した事実

(ア) 小学校の不登校児童について把握した事実のうち上位3つは、①学校生活(33.9%)、②不安・抑うつ(24.6%)、③生活リズムの不調(20.3%)である。なお「いじめの被害」は2.0%である。

(イ) 中学校の不登校生徒について把握した事実のうち上位3つは、①学校生活(34.2%)、②不安・抑うつ(25.3%)、③生活リズムの不調(20.5%)である。なお「いじめの被害」は0.7%である。

オ 不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

(ア) 小学校の不登校児童で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー、相談員等（31.0%）、②養護教諭（15.5%）、③教育委員会所管の機関（教育支援センターを除く）（11.3%）である。学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない人数は2,385人（41.7%）で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた実人数は2,200人（38.5%）である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー、相談員等（26.2%）、②養護教諭（13.9%）、③教育支援センター（9.6%）である。学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない人数は4,035人（47.0%）で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた実人数は3,863人（45.0%）である。

(4) 高等学校における長期欠席生徒数は4,164人で、全生徒に対する割合は4.71%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は3,108人で、前年度の2,816人より292人増加し、全生徒に対する割合は3.52%で前年度より0.43ポイント増加。

※P8表4・5, P20~23

ア 長期欠席者の状況

(ア) 長期欠席者4,164人のうち、「病気」は788人で長期欠席者全体に占める割合は18.9%、「経済的理由」は10人で長期欠席者全体に占める割合は0.2%、「不登校」は3,108人で長期欠席者全体に占める割合は74.6%、「その他」は258人で長期欠席者全体に占める割合は6.2%である。

(イ) 長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は2,373人で、全日制生徒全体に対する割合は2.8%、定時制の生徒数は735人で、定時制生徒全体に対する割合は29.7%である。

イ 不登校生徒の欠席の状況

高等学校の不登校生徒で「うち、50日以上欠席している者」の割合は35.7%、「うち、90日以上欠席している者」の割合は9.8%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は1.4%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は0.5%である。

ウ 不登校生徒への指導結果状況

高等学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、全日制で55.3%、定時制で49.3%である。

エ 不登校について把握した事実

(ア) 全日制の生徒の不登校について把握した事実のうち上位3つは、①学校生活（38.6%）、②生活リズムの不調（26.0%）、③学業の不振（12.2%）である。なお「いじめの被害」は0.5%である。

(イ) 定時制の生徒の不登校について把握した事実のうち上位3つは、①生活リズムの不調（44.8%）、②学校生活（34.8%）、③学業の不振（13.1%）である。なお「いじめの被害」は0.3%である。

オ 不登校生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①養護教諭（27.8%）、②スクールカウンセラー、相談員等（27.6%）、③病院・診療所（6.9%）である。学校内外の機関等による相談・指導等を受けていない人数は1,308人（42.1%）で、そのうち教職員から継続的な相談指導等を受けていた実人数は1,274人（41.0%）である。

（5）公立高等学校の中途退学者数は999人で、前年度の859人より140人増加し、年度当初の在籍者数に占める割合は1.12%であり、前年度の0.93%より0.19ポイント増加。 ※P8表6、P24・25

（※令和5年4月1日の在籍者数89,330人を基準とする中途退学率）

課程別に見ると、全日制が764人で、前年度の665人より99人増加し、定時制は188人で、前年度の176人より12人増加。通信制は47人で、前年度の18人より29人増加。

ア 課程別の中途退学率は、全日制が0.89%で前年度の0.75%より0.14ポイント増加している。定時制は7.57%で前年度の7.04%より0.53ポイント増加している。通信制は4.47%で前年度の1.99%より2.48ポイント増加している。

イ 全日制の学年別中途退学率は、第1学年では1.53%、第2学年では1.09%、第3学年では0.35%である。また、単位制では0.51%である。

ウ 全中途退学者数に占める割合は、全日制において第1学年では34.7%、第2学年では24.2%、第3学年では7.6%、単位制では9.9%である。また、定時制は18.8%、通信制は4.7%である。

エ 中途退学の理由の上位3つは、①学校生活・学業不適應（53.6%）、②進路変更（26.3%）、③学業不振（11.4%）である。

（ア）「進路変更」の内訳としての上位3つは、①就職を希望（33.5%）、②別の高校への入学を希望（32.3%）、③高卒程度認定試験受験を希望（8.4%）である。

（6）小・中・高等学校における自殺者数は19人（小1人、中5人、高13人）。

※P8表7

千葉県公立学校の問題行動・不登校等の諸課題の概要

1 暴力行為

校種別		小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	合計(件)	増減
形態・年度		合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	合計(うち学校外)	
対教師 暴力	25年度	98 (0)	273 (2)	14 (0)	385 (2)	73
	26年度	225 (0)	238 (3)	17 (0)	480 (3)	95
	27年度	145 (0)	155 (1)	12 (0)	312 (1)	△ 168
	28年度	127 (0)	257 (0)	7 (0)	391 (0)	79
	29年度	358 (0)	151 (0)	12 (0)	521 (0)	130
	30年度	230 (0)	88 (0)	13 (0)	331 (0)	△ 190
	元年度	407 (0)	101 (0)	9 (0)	517 (0)	186
	2年度	187	53	5	245	△ 272
	3年度	363	78	4	445	200
	4年度	441	66	3	510	65
		5年度	253	78	7	338
生徒間 暴力	25年度	568 (33)	1,350 (138)	144 (21)	2,062 (192)	316
	26年度	688 (20)	1,333 (123)	151 (12)	2,172 (155)	110
	27年度	1,131 (54)	1,164 (62)	152 (9)	2,447 (125)	275
	28年度	1,285 (47)	1,190 (42)	119 (16)	2,594 (105)	147
	29年度	1,882 (81)	976 (40)	123 (12)	2,981 (133)	387
	30年度	2,103 (73)	1,064 (47)	144 (8)	3,311 (128)	330
	元年度	2,767 (89)	993 (28)	146 (14)	3,906 (131)	595
	2年度	2,406	514	67	2,987	△ 919
	3年度	3,520	696	63	4,279	1,292
	4年度	4,895	926	50	5,871	1,592
		5年度	5,085	1,128	109	6,322
対人 暴力	25年度	21 (2)	110 (66)	16 (13)	147 (81)	62
	26年度	15 (8)	53 (41)	4 (3)	72 (52)	△ 75
	27年度	24 (5)	55 (18)	7 (1)	86 (24)	14
	28年度	11 (2)	76 (38)	10 (7)	97 (47)	11
	29年度	18 (2)	54 (27)	10 (8)	82 (37)	△ 15
	30年度	22 (5)	47 (28)	13 (4)	82 (37)	0
	元年度	26 (9)	57 (19)	8 (8)	91 (36)	9
	2年度	103	35	3	141	50
	3年度	0	1	3	4	△ 137
	4年度	1	7	2	10	6
		5年度	3	10	5	18
器物 損壊	25年度	101 (－)	673 (－)	63 (－)	837 (－)	93
	26年度	134 (－)	661 (－)	38 (－)	833 (－)	△ 4
	27年度	143 (－)	487 (－)	43 (－)	673 (－)	△ 160
	28年度	116 (－)	495 (－)	43 (－)	654 (－)	△ 19
	29年度	197 (－)	520 (－)	45 (－)	762 (－)	108
	30年度	206 (－)	378 (－)	64 (－)	648 (－)	△ 114
	元年度	178 (－)	375 (－)	56 (－)	609 (－)	△ 39
	2年度	185	164	22	371	△ 238
	3年度	181	156	25	362	△ 9
	4年度	262	166	21	449	87
		5年度	295	247	43	585
合計	25年度	788 (35)	2,406 (206)	237 (34)	3,431 (275)	544
	26年度	1,062 (28)	2,285 (167)	210 (15)	3,557 (210)	126
	27年度	1,443 (59)	1,861 (81)	214 (10)	3,518 (150)	△ 39
	28年度	1,539 (49)	2,018 (80)	179 (23)	3,736 (152)	218
	29年度	2,455 (83)	1,701 (67)	190 (20)	4,346 (170)	610
	30年度	2,561 (78)	1,577 (75)	234 (12)	4,372 (165)	26
	元年度	3,378 (98)	1,526 (47)	219 (22)	5,123 (167)	751
	2年度	2,881	766	97	3,744	△ 1,379
	3年度	4,064	931	95	5,090	1,346
	4年度	5,599	1,165	76	6,840	1,750
		5年度	5,636	1,463	164	7,263

※令和2年度より、学校の管理下、管理下以外のいずれかで発生したかに関わらず、発生件数を計上

2 いじめ

年度	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	特別支援学校(件)	合計(件)	増減
25年度	13,884	6,162	132	9	20,187	△ 500
26年度	19,410	6,180	197	24	25,811	5,624
27年度	22,537	6,499	213	127	29,376	3,565
28年度	24,876	6,376	253	112	31,617	2,241
29年度	28,951	6,267	448	167	35,833	4,216
30年度	31,641	6,898	763	180	39,482	3,649
元年度	42,775	7,994	956	342	52,067	12,585
2年度	34,206	5,144	640	240	40,230	△ 11,837
3年度	43,688	6,681	910	199	51,478	11,248
4年度	45,316	6,489	732	183	52,720	1,242
	5年度	46,584	6,857	860	54,455	1,735

3 いじめ重大事態

年度	第1号(件)	第2号(件)	合計(件)	増減(件)
4年度	42	36	63	33
5年度	67	60	102	39

(1件の「重大事態」が、第1号及び第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に計上されている。)

4 不登校

年度	小学校		中学校		合計(人)	増減	高等学校		増減
	不登校児童数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)			不登校生徒数(人)	不登校率(%)	
25年度	1,086	0.34%	3,884	2.51%	4,970	380	2,845	2.75%	△ 45
26年度	1,158	0.36%	3,963	2.56%	5,121	151	2,939	2.82%	94
27年度	1,233	0.39%	4,160	2.69%	5,393	272	2,604	2.51%	△ 335
28年度	1,456	0.46%	4,191	2.73%	5,647	254	2,658	2.55%	54
29年度	1,606	0.51%	4,637	3.06%	6,243	596	2,616	2.53%	△ 42
30年度	2,016	0.65%	5,100	3.44%	7,116	873	2,655	2.59%	39
元年度	2,352	0.76%	5,149	3.50%	7,501	385	2,381	2.37%	△ 274
2年度	2,691	0.88%	5,159	3.52%	7,850	349	1,593	1.62%	△ 788
3年度	3,583	1.18%	6,368	4.30%	9,951	2,101	2,270	2.41%	677
4年度	4,600	1.53%	7,482	5.09%	12,082	2,131	2,816	3.09%	546
5年度	5,713	1.93%	8,587	5.88%	14,300	2,218	3,108	3.52%	292

5 高等学校の長期欠席状況等

年度	生徒数(人)	長期欠席者		合計	増減	長欠率(%)
		不登校(人)	病気・経済的・その他(人)			
25年度	103,495	2,845	828	3,673	△ 139	3.55%
26年度	104,268	2,939	737	3,676	3	3.53%
27年度	103,808	2,604	845	3,449	△ 227	3.32%
28年度	104,045	2,658	921	3,579	130	3.44%
29年度	103,490	2,616	633	3,249	△ 330	3.14%
30年度	102,396	2,655	645	3,300	51	3.22%
元年度	100,255	2,381	535	2,916	△ 384	2.91%
2年度	98,259	1,593	765	2,358	△ 558	2.40%
3年度	94,221	2,270	959	3,229	871	3.43%
4年度	91,231	2,816	1,358	4,174	945	4.58%
5年度	88,376	3,108	1,056	4,164	△ 10	4.71%

注1) 令和2～4年度は新型コロナウイルス感染を含む。

6 高等学校の中途退学者

年度	中退率(%)	全日制(人)	定時制(人)	通信制(人)	合計(人)	増減
25年度	1.51%	1,107	473	10	1,590	27
26年度	1.40%	1,020	443	14	1,477	△ 113
27年度	1.24%	875	391	38	1,304	△ 173
28年度	1.27%	1,008	282	42	1,332	28
29年度	1.29%	1,008	327	11	1,346	14
30年度	1.31%	1,054	262	37	1,353	7
元年度	0.96%	778	179	15	972	△ 381
2年度	0.94%	729	159	45	933	△ 39
3年度	0.96%	721	151	37	909	△ 24
4年度	0.93%	665	176	18	859	△ 50
5年度	1.12%	764	188	47	999	140

注1) 平成25年度より通信制課程が加わった。

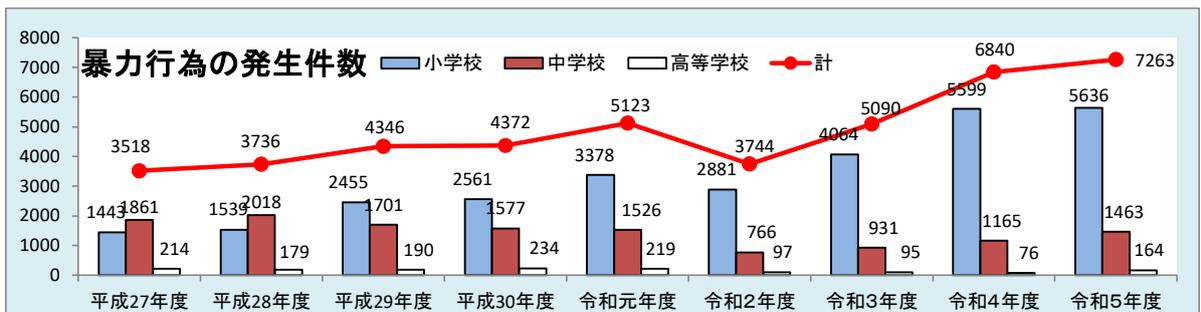
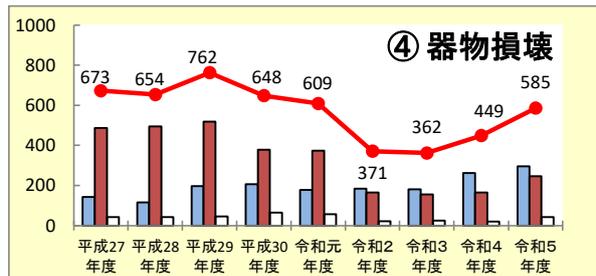
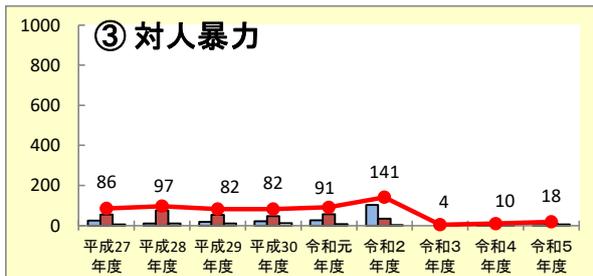
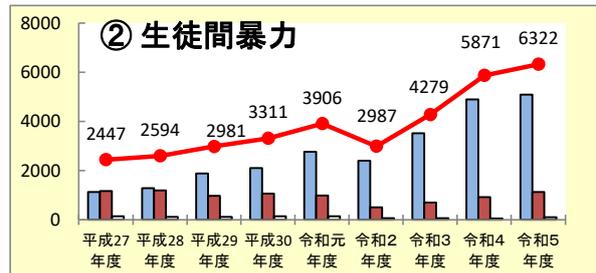
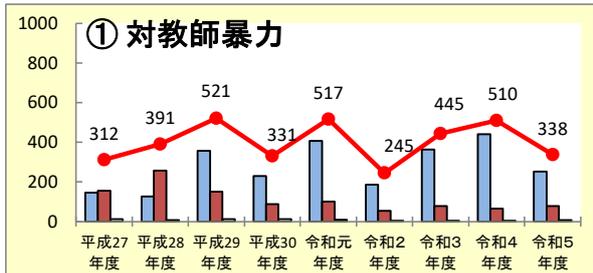
7 自殺

年度	小学校(人)	中学校(人)	高等学校(人)	合計(人)
25年度	0	4	8	12
26年度	2	4	7	13
27年度	0	4	4	8
28年度	0	2	6	8
29年度	1	6	6	13
30年度	0	8	14	22
元年度	1	3	9	13
2年度	1	7	11	19
3年度	0	6	10	16
4年度	3	6	14	23
5年度	1	5	13	19

令和5年度 公立小・中・高等学校の暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成27年度	小学校	145	0	1,077	54	19	5	143	1,443	3,518
	中学校	154	1	1,102	62	37	18	487	1,861	
	高等学校	12	0	143	9	6	1	43	214	
平成28年度	小学校	127	0	1,238	47	9	2	116	1,539	3,736
	中学校	257	0	1,148	42	38	38	495	2,018	
	高等学校	7	0	103	16	3	7	43	179	
平成29年度	小学校	358	0	1,801	81	16	2	197	2,455	4,346
	中学校	151	0	936	40	27	27	520	1,701	
	高等学校	12	0	111	12	2	8	45	190	
平成30年度	小学校	230	0	2,030	73	17	5	206	2,561	4,372
	中学校	88	0	1,017	47	19	28	378	1,577	
	高等学校	13	0	136	8	9	4	64	234	
令和元年度	小学校	407	0	2,678	89	17	9	178	3,378	5,123
	中学校	101	0	965	28	38	19	375	1,526	
	高等学校	9	0	132	14	0	8	56	219	
令和2年度	小学校	187		2406		103		185	2,881	3,744
	中学校	53		514		35		164	766	
	高等学校	5		67		3		22	97	
令和3年度	小学校	363		3,520		0		181	4,064	5,090
	中学校	78		696		1		156	931	
	高等学校	4		63		3		25	95	
令和4年度	小学校	441		4,895		1		262	5,599	6,840
	中学校	66		926		7		166	1,165	
	高等学校	3		50		2		21	76	
令和5年度	小学校	253		5,085		3		295	5,636	7,263
	中学校	78		1,128		10		247	1,463	
	高等学校	7		109		5		43	164	



※ 暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)

「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

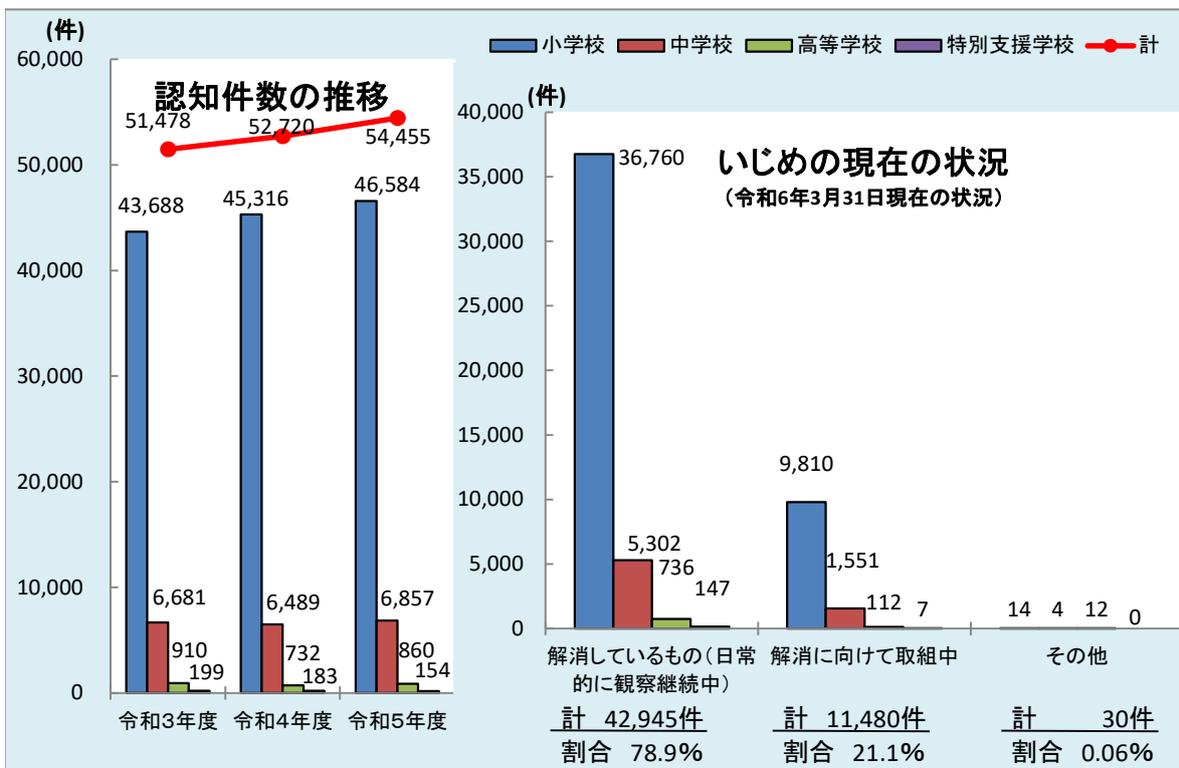
※令和2年度より、学校の管理下、管理下以外のいずれで発生したかに関わらず、発生件数を計上

令和5年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減[%]	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	令和3年度	755	731	96.8%	43,688	9,482【27.7%】	57.9
	令和4年度	751	737	98.1%	45,316	1,628【3.7%】	60.3
	令和5年度	748	738	98.7%	46,584	1,268【2.8%】	62.3
中学校	令和3年度	367	351	95.6%	6,681	1,537【29.9%】	18.2
	令和4年度	368	353	95.9%	6,489	△192【△2.9%】	17.6
	令和5年度	367	356	97.0%	6,857	368【5.7%】	18.7
高等学校	令和3年度	144	118	81.9%	910	270【42.2%】	6.3
	令和4年度	143	125	87.4%	732	△178【△19.6%】	5.1
	令和5年度	143	123	86.0%	860	128【17.5%】	6.0
特別 学校 支援	令和3年度	43	27	62.8%	199	△41【△17.1%】	4.6
	令和4年度	44	25	56.8%	183	△16【△8.0%】	4.2
	令和5年度	44	21	47.7%	154	△29【△15.8%】	3.5
計	令和3年度	1,309	1,227	93.7%	51,478	11,248【28.0%】	39.3
	令和4年度	1,306	1,240	94.9%	52,720	1,242【2.4%】	40.4
	令和5年度	1,302	1,238	95.1%	54,455	1,735【3.3%】	41.8

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制126校、定時制16校、通信制1校の合計である。



※いじめの定義(平成25年度一部改訂)

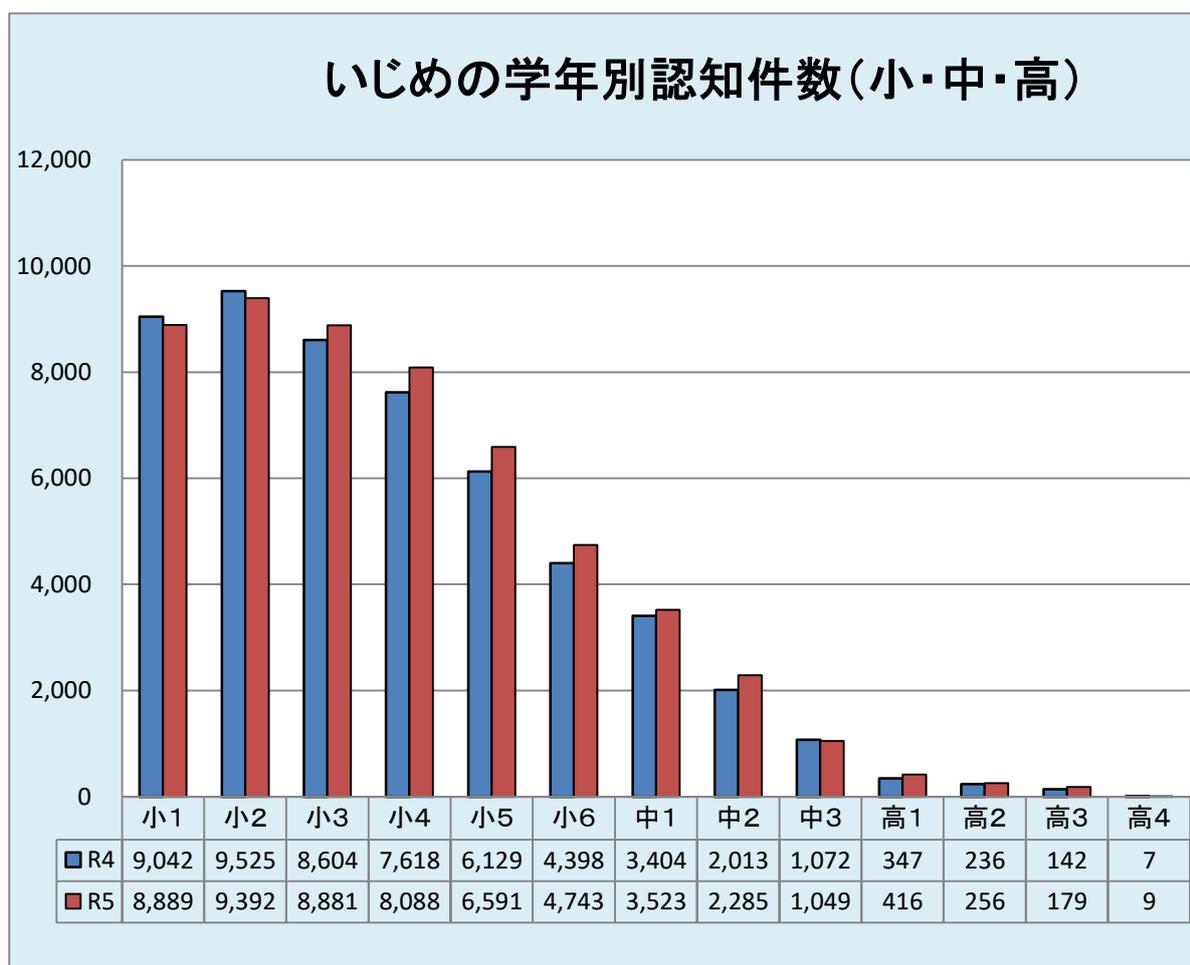
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別内訳

(単位:件)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	
小学校	8,889	9,392	8,881	8,088	6,591	4,743	46,584	
中学校	3,523	2,285	1,049	—	—	—	6,857	
高等学校	416	256	179	9	—	—	860	
特別支援学校	小学部	13	9	15	11	2	7	57
	中学部	6	12	4	—	—	—	22
	高等部	43	17	15	—	—	—	75
特別支援学校計	62	38	34	11	2	7	154	

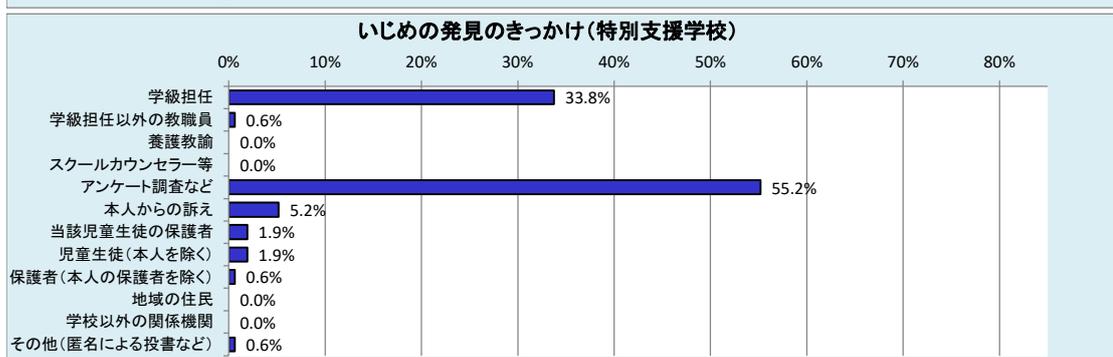
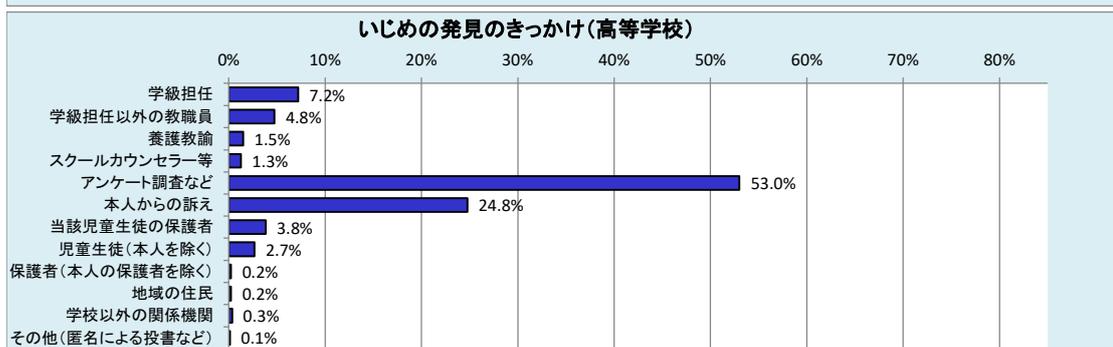
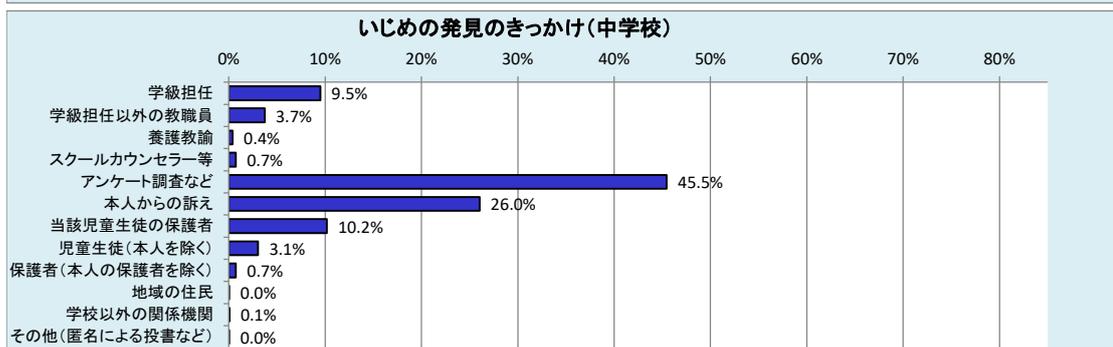
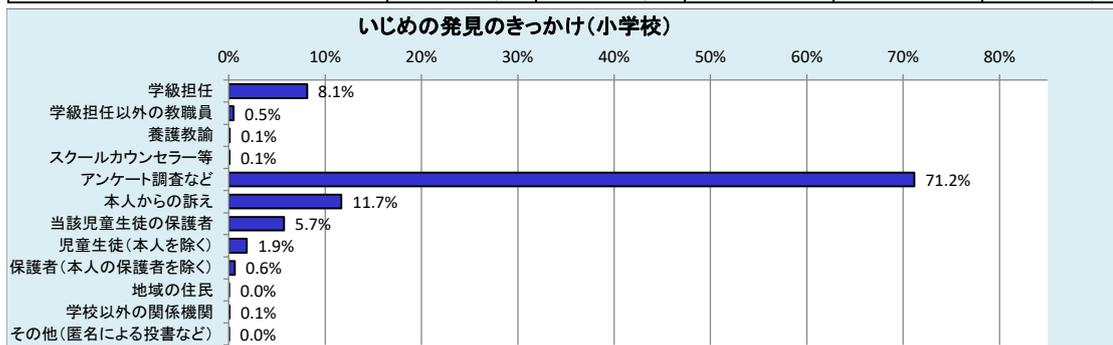


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
学校の教職員等が発見	37,255	4,104	583	138	42,080	
内訳	学級担任	3,789	653	62	52	4,556
	学級担任以外の教職員	240	256	41	1	538
	養護教諭	45	28	13	0	86
	スクールカウンセラー等	30	50	11	0	91
	アンケート調査など	33,151	3,117	456	85	36,809
学校の教職員以外からの情報により発見	9,329	2,753	277	16	12,375	
内訳	本人からの訴え	5,445	1,785	213	8	7,451
	当該児童生徒の保護者	2,668	698	33	3	3,402
	児童生徒(本人を除く)	877	210	23	3	1,113
	保護者(本人の保護者を除く)	288	51	2	1	342
	地域の住民	13	3	2	0	18
	学校以外の関係機関	31	4	3	0	38
	その他(匿名による投書など)	7	2	1	1	11
	計	46,584	6,857	860	154	54,455



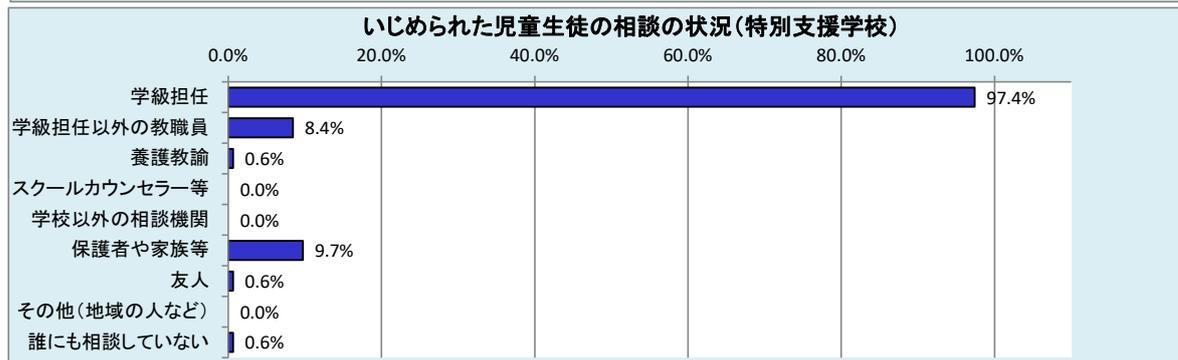
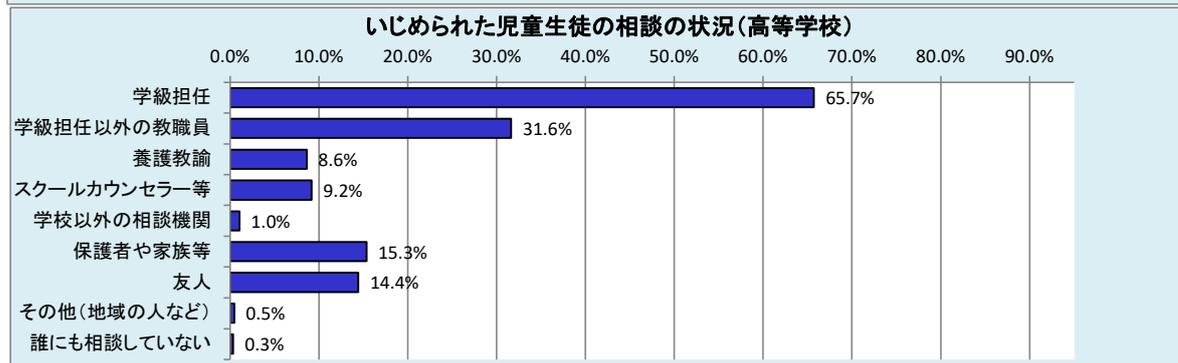
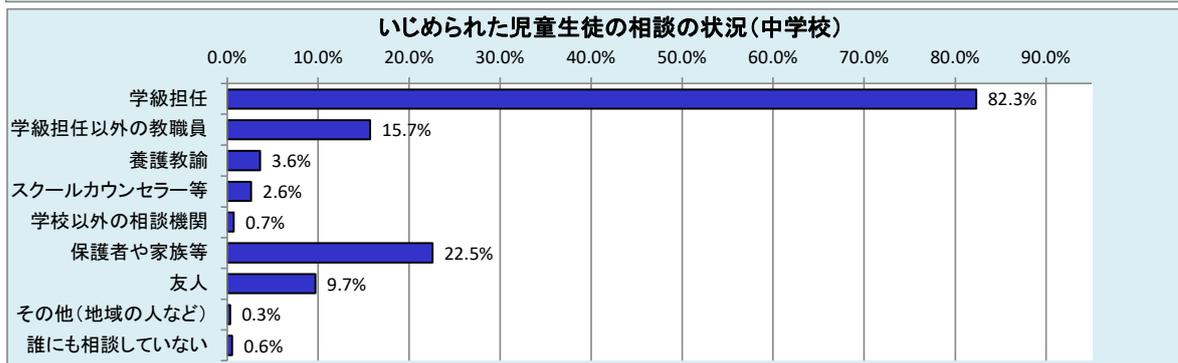
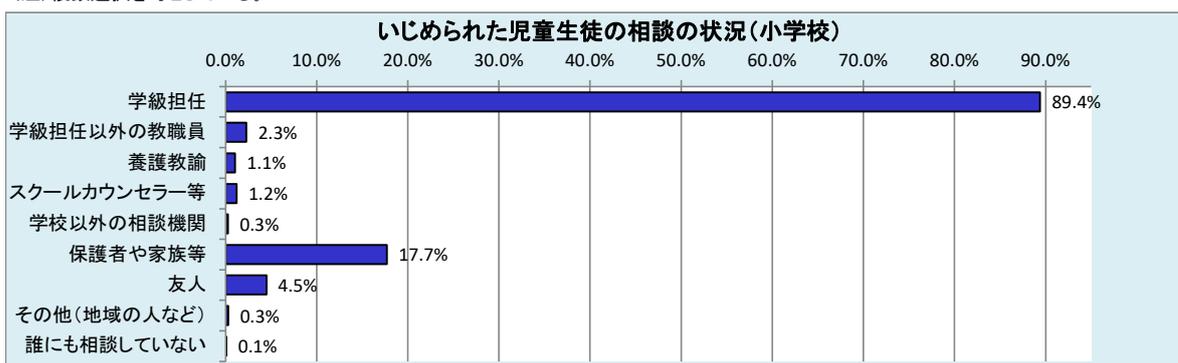
※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。
(認知件数: 小学校46,584件, 中学校6,857件, 高等学校860件, 特別支援学校154件)

4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	41,642	5,644	565	150	48,001
学級担任以外の教職員	1,060	1,078	272	13	2,423
養護教諭	490	248	74	1	813
スクールカウンセラー等	568	180	79	0	827
学校以外の相談機関	121	51	9	0	181
保護者や家族等	8,251	1,546	132	15	9,944
友人	2,088	665	124	1	2,878
その他(地域の人など)	141	21	4	0	166
誰にも相談していない	36	38	3	1	78
計	54,397	9,471	1,262	181	65,311

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

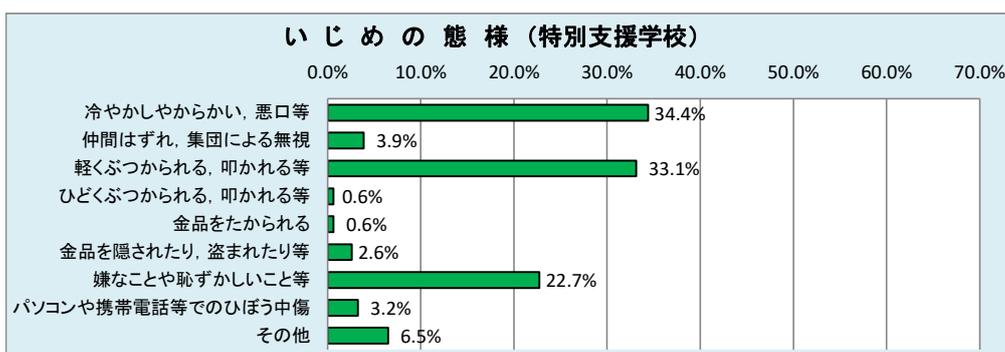
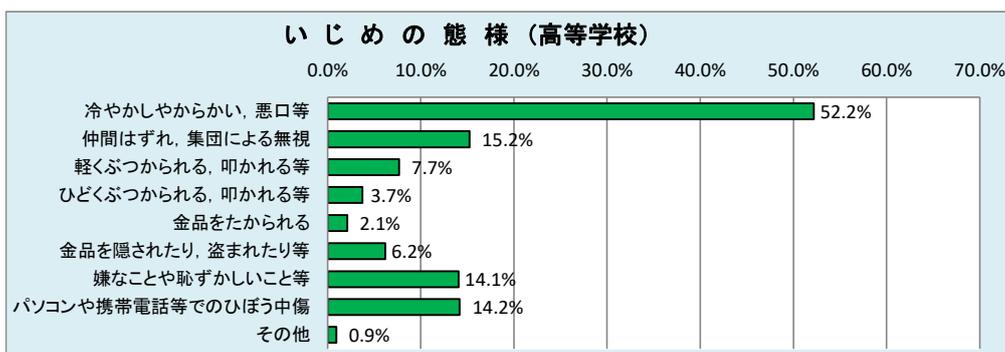
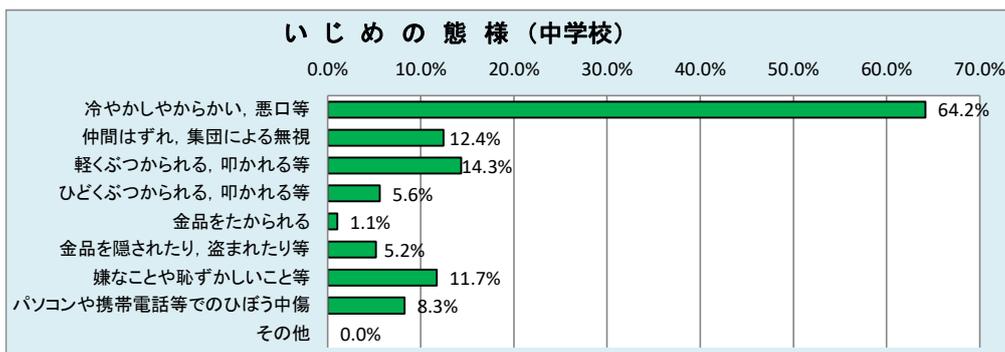
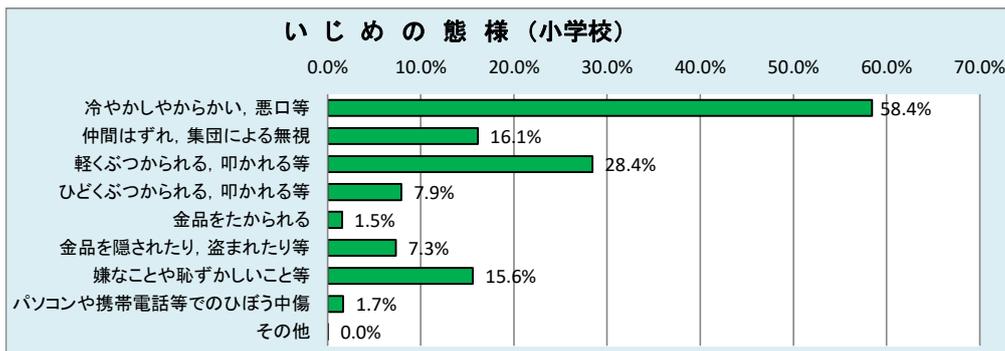
(認知件数: 小学校46, 584件, 中学校6, 857件, 高等学校860件, 特別支援学校154件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	27,219	4,401	449	53	32,122
仲間はずれ, 集団による無視	7,504	851	131	6	8,492
軽くぶつかられる, 叩かれる等	13,239	983	66	51	14,339
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	3,677	385	32	1	4,095
金品をたかられる	713	72	18	1	804
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	3,406	355	53	4	3,818
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	7,258	805	121	35	8,219
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷	787	568	122	5	1,482
その他	9	0	8	10	27
計	63,812	8,420	1,000	166	73,398

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

(認知件数: 小学校46, 584件, 中学校6, 857件, 高等学校860件, 特別支援学校154件)

令和5年度 公立小中学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1-(1)長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	長期欠席率(%)
小学校	296,778	12,173	4.10%
中学校	145,995	12,177	8.34%
合 計	442,773	24,350	5.50%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1-(2)理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	小学校			中学校			合 計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病 気	4,412	1.49%	36.24%	2,902	1.99%	23.83%	7,314	1.65%	30.04%
経済的理由	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%	0	0.00%	0.00%
不登校	5,713	1.93%	46.93%	8,587	5.88%	70.52%	14,300	3.23%	58.73%
その他	2,048	0.69%	16.82%	688	0.47%	5.65%	2,736	0.62%	11.24%
合 計	12,173	4.10%	100%	12,177	8.34%	100%	24,350	5.50%	100%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

(注4)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

2 不登校児童生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	合 計
小学校	2,325	3,388	5,713
中学校	4,720	3,867	8,587
合 計	7,045	7,255	14,300

(注)小学校1年364名については入学前の調査はしていない。

3 小・中学校における不登校児童生徒数の変遷

区分	年度	学校数	全児童生徒数 (人)	不登校児童生 徒数(人)	前年度との不 登校数の差 (人)	全児童生徒に 対する割合 (%)	前年度との割 合の差
小 学 校	平成18年度	855	333,374	821	45	0.25%	0.02
	平成19年度	854	332,846	819	-2	0.25%	0.00
	平成20年度	850	334,308	811	-8	0.24%	-0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26%	0.02
	平成22年度	847	333,188	871	19	0.26%	0.00
	平成23年度	838	331,232	898	27	0.27%	0.01
	平成24年度	837	325,557	856	-42	0.26%	-0.01
	平成25年度	828	322,121	1,086	230	0.34%	0.08
	平成26年度	820	319,190	1,158	72	0.36%	0.02
	平成27年度	810	316,855	1,233	75	0.39%	0.03
	平成28年度	806	314,710	1,456	223	0.46%	0.07
	平成29年度	796	312,913	1,606	150	0.51%	0.05
	平成30年度	794	312,314	2,016	410	0.65%	0.14
	令和元年度	781	309,308	2,352	336	0.76%	0.11
	令和2年度	767	305,950	2,691	339	0.88%	0.12
	令和3年度	755	302,822	3,583	892	1.18%	0.30
令和4年度	751	300,372	4,600	1,017	1.53%	0.35	
令和5年度	748	296,778	5,713	1,113	1.93%	0.40	
中 学 校	平成18年度	383	149,670	4,190	99	2.80%	0.08
	平成19年度	384	150,894	4,363	173	2.89%	0.09
	平成20年度	385	151,289	4,340	-23	2.87%	-0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	-93	2.77%	-0.10
	平成22年度	383	152,764	4,182	-65	2.74%	-0.03
	平成23年度	382	154,643	3,879	-303	2.51%	-0.23
	平成24年度	383	154,563	3,734	-145	2.42%	-0.09
	平成25年度	382	155,022	3,884	150	2.51%	0.09
	平成26年度	382	154,662	3,963	79	2.56%	0.05
	平成27年度	381	154,585	4,160	197	2.69%	0.13
	平成28年度	381	153,293	4,191	31	2.73%	0.04
	平成29年度	379	151,710	4,637	446	3.06%	0.33
	平成30年度	379	148,104	5,100	463	3.44%	0.38
	令和元年度	377	147,039	5,149	49	3.50%	0.06
	令和2年度	371	146,530	5,159	10	3.52%	0.02
	令和3年度	367	147,964	6,368	1,209	4.30%	0.78
令和4年度	368	147,120	7,482	1,114	5.09%	0.82	
令和5年度	367	145,995	8,587	1,105	5.88%	0.79	
合 計	平成18年度	1238	483,044	5,011	144	1.04%	0.03
	平成19年度	1238	483,740	5,182	171	1.07%	0.03
	平成20年度	1235	485,597	5,151	-31	1.06%	-0.01
	平成21年度	1228	487,266	5,099	-52	1.05%	-0.01
	平成22年度	1230	485,952	5,053	-46	1.04%	-0.01
	平成23年度	1220	485,875	4,777	-276	0.98%	-0.06
	平成24年度	1220	480,120	4,590	-187	0.96%	-0.02
	平成25年度	1210	477,143	4,970	380	1.04%	0.08
	平成26年度	1202	473,852	5,121	151	1.08%	0.04
	平成27年度	1191	471,440	5,393	272	1.14%	0.06
	平成28年度	1187	468,003	5,647	254	1.21%	0.07
	平成29年度	1175	464,623	6,243	596	1.34%	0.13
	平成30年度	1173	460,418	7,116	873	1.55%	0.21
	令和元年度	1158	456,347	7,501	385	1.64%	0.09
	令和2年度	1138	452,480	7,850	349	1.73%	0.09
	令和3年度	1122	450,786	9,951	2,101	2.21%	0.48
令和4年度	1119	447,492	12,082	2,131	2.70%	0.49	
令和5年度	1115	442,773	14,300	2,218	3.23%	0.53	

4 学年別不登校児童生徒数

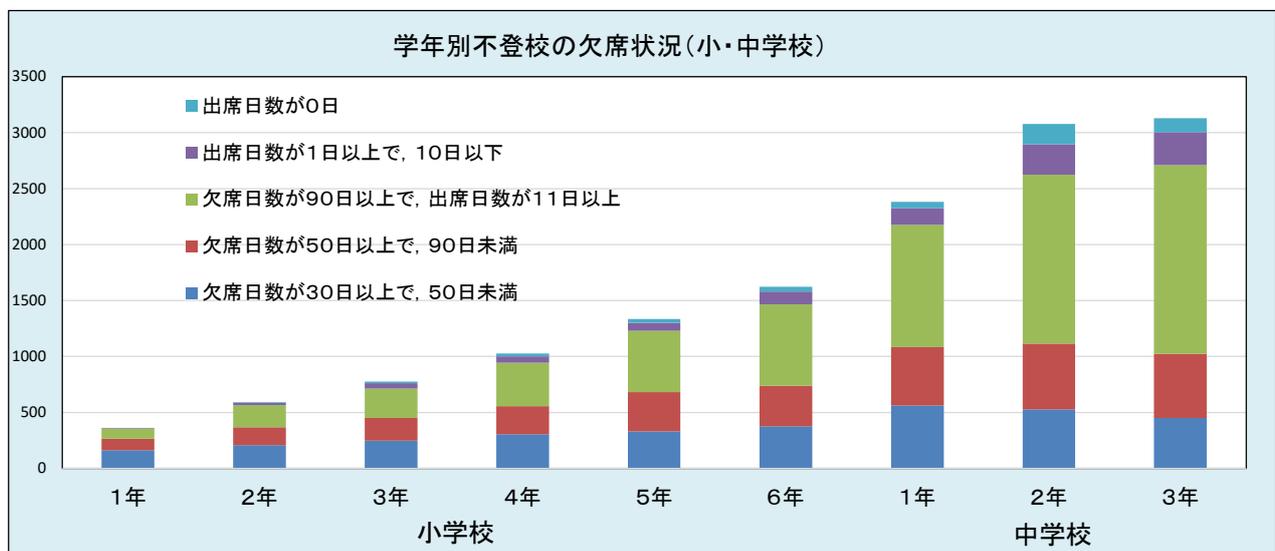
(1) 小学校

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	割合(%)
不登校児童数	364	593(170)	774(281)	1,026(439)	1,333(575)	1,623(860)	5,713(2,325)	100
うち、50日以上欠席	203	384	526	721	1,002	1,245	4,081	71.4%
うち、90日以上欠席	99	225	323	469	650	884	2,650	46.4%
うち、出席日数が10日以下	9	28	61	82	103	156	439	7.7%
うち、出席日数が0日	2	5	14	25	34	44	124	2.2%

(2) 中学校

区分	1年	2年	3年	合計	割合(%)
不登校生徒数	2,381(675)	3,077(1,811)	3,129(2,234)	8,587(4,720)	100%
うち、50日以上欠席	1,819	2,549	2,678	7,046	82.1%
うち、90日以上欠席	1,296	1,963	2,104	5,363	62.5%
うち、出席日数が10日以下	205	454	419	1,078	12.6%
うち、出席日数が0日	58	182	127	367	4.3%

※()内は前回調査でも不登校として計上されていた児童生徒の人数。(中学校1年については、前回調査における小学校6年時のもの。)



5 不登校児童生徒の在籍学校数

区分	学校総数(校)	不登校在籍学校数(校)
小学校	748	689
中学校	367	363
合計	1,115	1,052

6 不登校児童生徒への指導結果状況

区分	小学校	中学校	計
	人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	1,477 25.9%	2,260 26.3%	3,737 26.1%
指導中の児童生徒	4,236 74.1%	6,327 73.7%	10,563 73.9%
合計	5,713	8,587	14,300

7 不登校児童生徒について把握した事実

(1) 小学校・中学校

学校種	区分	不登校児童生徒数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			いじめの被害	いじめ被害を除く友人関係	教職員との関係	学業の不振	学校のきまり等	転編入学、進級時の不適応	家庭生活の変化	親子の関わり方	生活リズムの不調	あそび、非行	学校生活	不安・抑うつ	障害(疑いを含む)	個別の配慮(13以外)
小学校	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	5,713	114	627	208	709	80	165	478	562	1,159	71	1,937	1,407	323	415
			2.0%	11.0%	3.6%	12.4%	1.4%	2.9%	8.4%	9.8%	20.3%	1.2%	33.9%	24.6%	5.7%	7.3%
中学校	不登校児童生徒について把握した事実(複数回答可)	8,587	58	1,209	195	1,150	130	353	431	498	1,760	257	2,937	2,170	343	349
			0.7%	14.1%	2.3%	13.4%	1.5%	4.1%	5.0%	5.8%	20.5%	3.0%	34.2%	25.3%	4.0%	4.1%
合計		14,300	172	1,836	403	1,859	210	518	909	1,060	2,919	328	4,874	3,577	666	764
			1.2%	12.8%	2.8%	13.0%	1.5%	3.6%	6.4%	7.4%	20.4%	2.3%	34.1%	25.0%	4.7%	5.3%

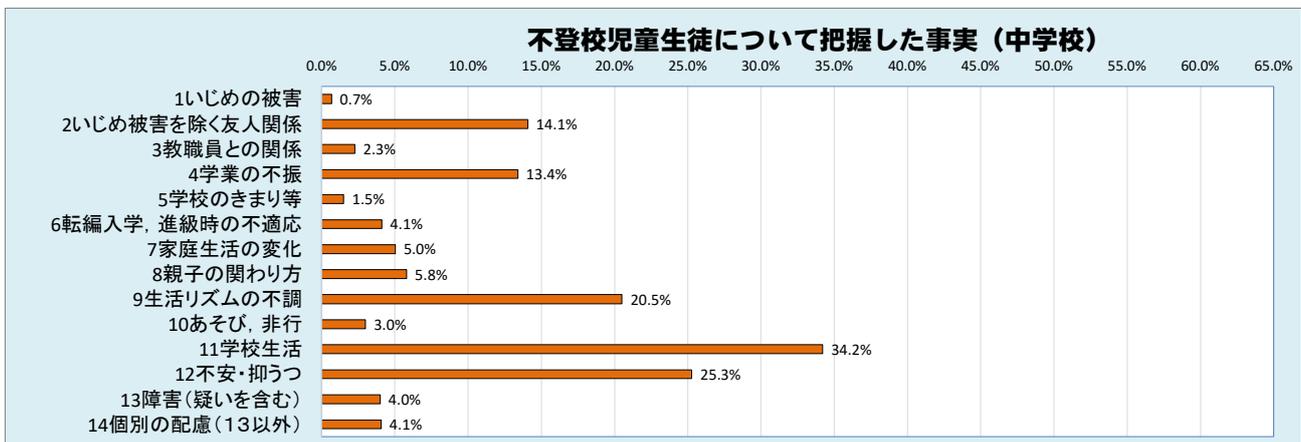
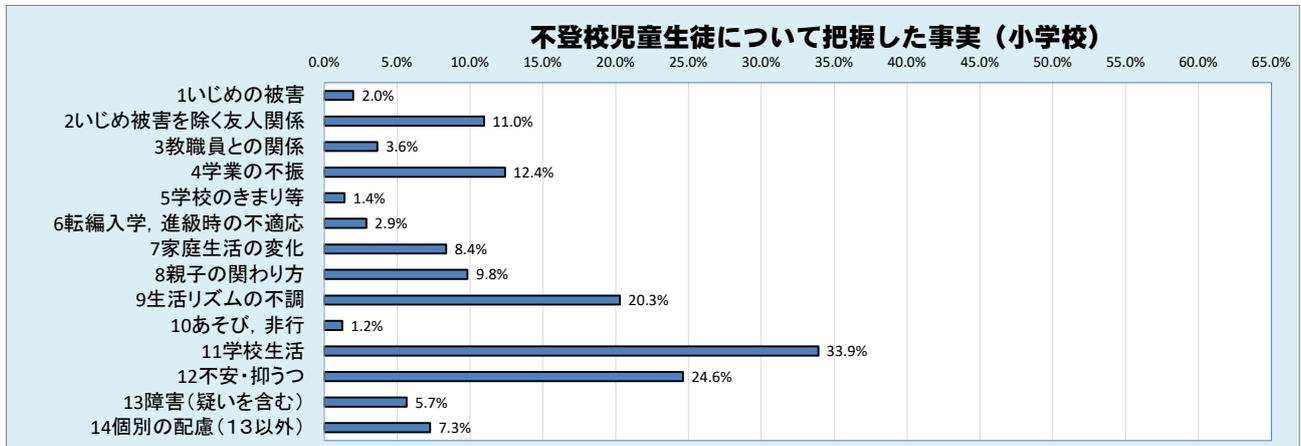
(注1)「長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校児童生徒全員につき回答したものを。

(注2)「相談」は、本人や保護者からの相談であるもの。

(注3)「不登校児童生徒について把握した事実」については、該当する児童生徒について当てはまる項目を全て回答したものを。調査票の「区分」については、具体的に次のようなものが考えられる。

<区分>

- いじめの被害の情報や相談……本調査に定義するいじめ被害の事実を把握した情報や当該児童生徒や保護者からのいじめ被害に関する相談
- いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談……仲違い、友人が極端に少ない、友人間に関する問題に関する情報や相談
- 教職員との関係をめぐる問題の情報や相談……教職員への反抗や反発、教職員から厳しい叱責や注意に関する情報や相談
- 学業の不振や頻繁な宿題の未提出……成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い、宿題の過半数が未提出
- 学校のきまり等に関する相談……制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくないことに関する相談
- 転編入学、進級時の不適応に関する相談……転編入学したくなかった、クラス替えが自分の願う学級編成や担任ではなかったことに関する相談
- 家庭生活の変化に関する情報や相談……両親の離婚、親の単身赴任、家族の病気にに関する情報や相談
- 親子の関わり方に関する問題の情報や相談……親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任に関する情報や相談
- 生活リズムの不調に関する相談……朝起きられない、夜寝れない、就寝起床時間が定まらないことに関する相談
- あそび、非行に関する情報や相談……非行グループに入り非行行為を行うことに関する情報や相談
- 学校生活に対してやる気が出ない等の相談……無気力で登校したくないことに関する相談
- 不安・抑うつの相談……登校の意志はあるが、漠然とした不安や気持ちの落ち込みにより登校しない(できない。)ことに関する相談
- 障害(疑いを含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談……特別支援学級への在籍、通級指導の利用、特別支援教育支援員の配置、その他の合理的配慮に関する求めや相談
- 個別の配慮(13以外)についての求めや相談……日本語指導が必要、特定分野に特異な才能を有する、性に関する違和感、感覚過敏に関する求めや相談



(注) 複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校児童生徒数に対する割合を示している。

(不登校児童生徒数: 小学校5,713人、中学校8,587人、合計14,300人)

8 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	小学校				中学校				計				
	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いとなった人数	通学定期乗車券制度適用人数	
学校外	(1)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	1,936	33.9%	640	2,520	29.3%	1,201	4,456	31.2%	1,841			
	① 教育支援センター	510	8.9%	284	5	822	9.6%	622	18	1,332	9.3%	906	23
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	644	11.3%	214	1	733	8.5%	374	3	1,377	9.6%	588	4
	③ 児童相談所, 福祉事務所	178	3.1%	26		218	2.5%	68		396	2.8%	94	
	④ 保健所, 精神保健福祉センター	11	0.2%	0		15	0.2%	2		26	0.2%	2	
	⑤ 病院, 診療所	478	8.4%	13		596	6.9%	21		1,074	7.5%	34	
	⑥ 民間団体, 民間施設	316	5.5%	132	4	294	3.4%	181	20	610	4.3%	313	24
	⑦ 上記以外の機関等	123	2.2%	13		115	1.3%	14		238	1.7%	27	
	(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	3,777	66.1%			6,067	70.7%			9,844	68.8%		
	(3) (1), (2)の合計	5,713	100%			8,587	100%			14,300	100%		
学校内	(4)⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	2,344	41.0%			3,007	35.0%			5,351	37.4%		
	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	886	15.5%			1,192	13.9%			2,078	14.5%		
	⑨ スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	1,771	31.0%			2,251	26.2%			4,022	28.1%		
	(5)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	3,369	59.0%			5,580	65.0%			8,949	62.6%		
	(6) (4), (5)の合計	5,713	100%			8,587	100%			14,300	100%		
(7)上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	2,385	41.7%			4,035	47.0%			6,420	44.9%			
(8)うち, 教職員から継続的な相談・指導等を受けていた実人数	2,200	38.5%			3,863	45.0%			6,063	42.4%			

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校児童生徒数に対する割合を示している。
(不登校児童生徒数:小学校5,713人,中学校8,587人,合計14,300人)

令和5年度 公立高等学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1-(1)長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率(%)	前年比
全日制	85,901	3,345	17	3.89%	0.14%
定時制	2,475	819	-27	33.09%	-0.80%
合計	88,376	4,164	-10	4.71%	0.14%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1-(2)理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	全日制			定時制			全定合計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病気	744	0.87%	22.24%	44	1.78%	5.37%	788	0.89%	18.92%
経済的理由	4	0.00%	0.12%	6	0.24%	0.73%	10	0.01%	0.24%
不登校	2,373	2.76%	70.94%	735	29.70%	89.74%	3,108	3.52%	74.64%
その他	224	0.26%	6.70%	34	1.37%	4.15%	258	0.29%	6.20%
合計	3,345	3.89%	100%	819	33.09%	100%	4,164	4.71%	100%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

(注3)欠席理由が2つ以上あるときは、主な理由を1つ選び記入する。

(注4)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。

2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	その他	合計
全日制	464	1,909	0	2,373
定時制	253	482	0	735
合計	717	2,391	0	3,108

(注)「その他」は、不登校生徒のうち前年度の不登校の状況が確認できなかった者である。

3-1) 課程別不登校生徒数

	全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	654	2.92%	/		654	2.92%
2学年	762	3.48%	/		762	3.48%
3学年	573	2.67%	/		573	2.67%
単位制	384	1.91%	735	29.70%	1,119	4.96%
合 計	2,373	2.76%	735	29.70%	3,108	3.52%

(注)出現率(%)は、学年制及び単位制における全生徒数に対する割合である。

3-2) 課程別不登校生徒欠席状況

区 分	全 日 制				定時制 (単位制)	全定合計	割合(%)
	1年	2年	3年	単位制			
不登校生徒数	654	762	573	384	735	3,108	100%
うち、50日以上欠席	213	249	109	137	401	1,109	35.7%
うち、90日以上欠席	56	44	18	40	146	304	9.8%
うち、出席日数が10日以下	5	7	3	4	26	45	1.4%
うち、出席日数が0日	2	2	0	3	8	15	0.5%

3-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中途退学者数	中途退学率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全 日 制	2,373	337	14.20%	37	1.56%
定 時 制	735	102	13.88%	2	0.27%
合 計	3,108	439	14.12%	39	1.25%

3-4) 不登校生徒への指導結果状況

区 分	全 日 制	定 時 制	全 定 合 計
	人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	1,312	362	1,674
	55.3%	49.3%	53.9%
指導中の生徒	1,061	373	1,434
	44.7%	50.7%	46.1%
合 計	2,373	735	3,108

4 不登校について把握した事実

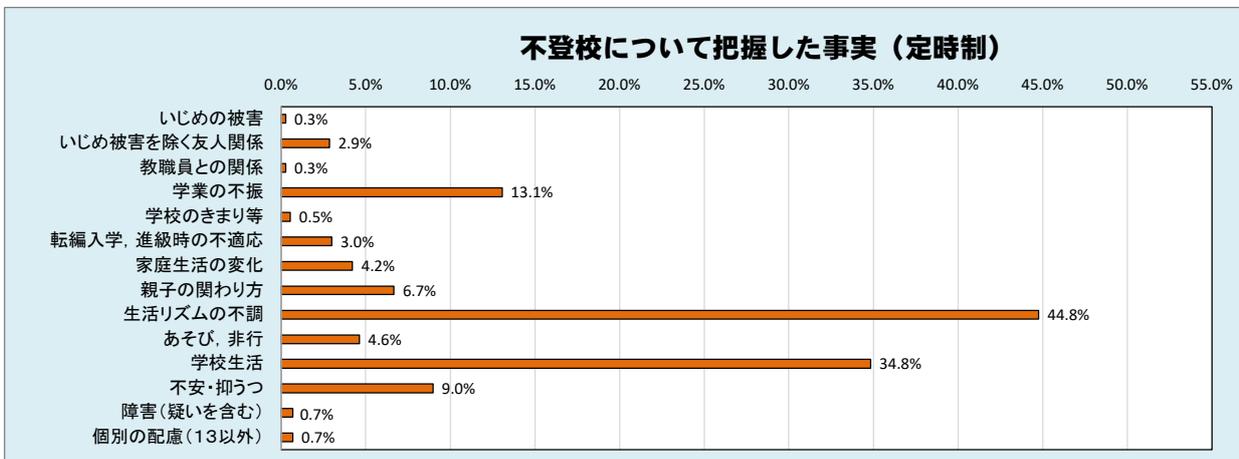
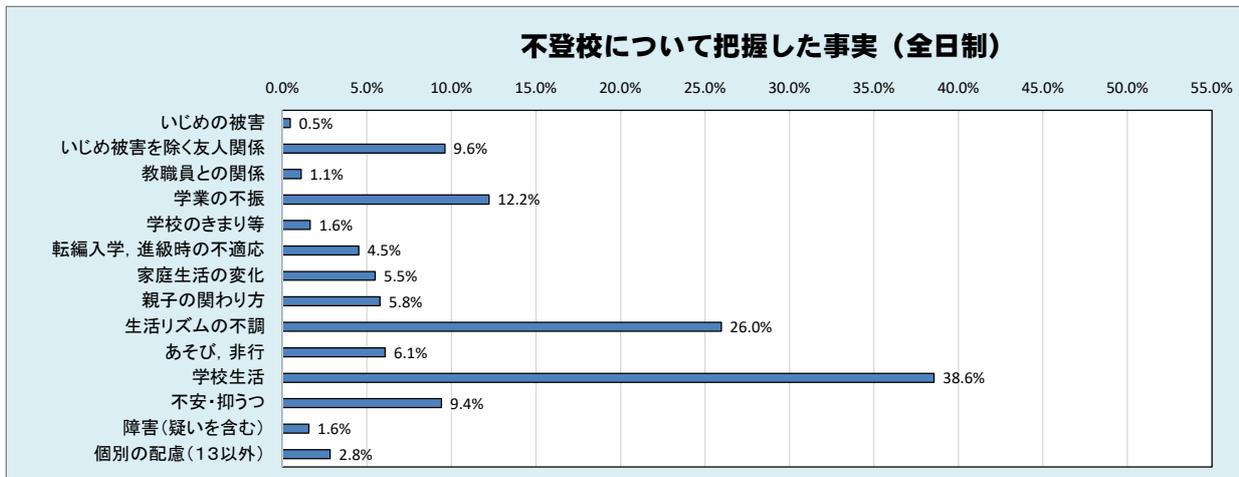
(1) 高校(全日制・定時制)

学校種	区分	不登校生徒数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
			いじめの被害	いじめ被害を除く友人関係	教職員との関係	学業の不振	学校のきまり等	転編入学、進級時の不適応	家庭生活の変化	親子の関わり方	生活リズムの不調	あそび、非行	学校生活	不安・抑うつ	障害(疑いを含む)	個別の配慮(13以外)
全日制	不登校について把握した事実(複数回答可)	2,373	11	228	26	290	39	107	130	137	616	144	915	223	37	67
			0.5%	9.6%	1.1%	12.2%	1.6%	4.5%	5.5%	5.8%	26.0%	6.1%	38.6%	9.4%	1.6%	2.8%
定時制	不登校について把握した事実(複数回答可)	735	2	21	2	96	4	22	31	49	329	34	256	66	5	5
			0.3%	2.9%	0.3%	13.1%	0.5%	3.0%	4.2%	6.7%	44.8%	4.6%	34.8%	9.0%	0.7%	0.7%
合計		3,108	13	249	28	386	43	129	161	186	945	178	1,171	289	42	72
			0.4%	8.0%	0.9%	12.4%	1.4%	4.2%	5.2%	6.0%	30.4%	5.7%	37.7%	9.3%	1.4%	2.3%

- (注1) 「1. 長期欠席者の状況」における「不登校」と回答した不登校生徒全員につき回答すること。
 (注2) 「相談」は、本人や保護者からの相談であること。
 (注3) 「不登校生徒について把握した事実」については、該当する生徒について当てはまる項目を全て回答すること。
 調査票の「区分」については、具体的に次のようなものが考えられる。

<区分>

- いじめの被害の情報や相談・・・本調査に定義するいじめ被害の事実を把握した情報や当該生徒や保護者からのいじめ被害に関する相談
- いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談・・・仲違い、友人が極端に少ない、友人間に関する情報や相談
- 教職員との関係をめぐる問題の情報や相談・・・教職員への反抗や反発、教職員から厳しい叱責や注意に関する情報や相談
- 学業の不振や頻繁な宿題の未提出・・・成績の不振、授業が分からない、試験が嫌い、宿題の過半数が未提出
- 学校のきまり等に関する相談・・・制服を着たくない、給食を食べたくない、学校行事に参加したくないことに関する相談
- 転編入学、進級時の不適応による相談・・・転編入学しなくなった、クラス替えが自分の願う学級編成や担任ではなかったことに関する相談
- 家庭生活の変化に関する情報や相談・・・両親の離婚、親の単身赴任、家族の病気にに関する情報や相談
- 親子の関わり方に関する情報や相談・・・親の叱責、親の言葉・態度への反発、親の過干渉・放任に関する情報や相談
- 生活リズムの不調に関する相談・・・朝起きられない、夜眠れない、就寝起床時間が定まらないことに関する相談
- あそび、非行に関する情報や相談・・・非行グループに入り非行行為を行うことに関する情報や相談
- 学校生活に対してやる気が出ない等の相談・・・無気力で登校したくないことに関する相談
- 不安・抑うつに関する相談・・・登校の意志はあるが、漠然とした不安や気持ちの落ち込みにより登校しない(できない。)ことに関する相談
- 障害(疑いを含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談・・・特別支援学級への在籍、通級指導の利用、特別支援教育支援員の配置、その他の合理的配慮に関する求めや相談
- 個別の配慮(13以外)についての求めや相談・・・日本語指導が必要、特定分野に特異な才能を有する、性に関する違和感、感覚過敏に関する求めや相談



(注) 複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校生徒数に対する割合を示している。
 (不登校生徒数: 全日制2,373人、定時制735人、合計3,108人)

5 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区 分		全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
		総数	割合 (%)	総数	割合 (%)	総数	割合 (%)
学 校 外	(1)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	237	10.0%	76	10.3%	313	10.1%
	指導要録上出席扱いとなった実人数	10		3		13	
	①教育支援センター(適応指導教室)	1	0.0%	3	0.4%	4	0.1%
	指導要録上出席扱いとなった人数	1		0		1	
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	1	0.0%	1	0.1%	2	0.1%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	③児童相談所, 福祉事務所	36	1.5%	31	③ 4.2%	67	2.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	8		3		11	
	④保健所, 精神保健福祉センター	3	0.1%	4	0.5%	7	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑤病院, 診療所	188	③ 7.9%	26	3.5%	214	③ 6.9%
	指導要録上出席扱いとなった人数	1		0		1	
	⑥民間団体, 民間施設	3	0.1%	11	1.5%	14	0.5%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
⑦上記以外の機関等	8	0.3%	5	0.7%	13	0.4%	
指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0		
(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	1,873	78.9%	613	83.4%	2,486	80.0%	
(3)不明	263	11.1%	46	6.3%	309	9.9%	
(4) (1)～(3)の合計	2,373	100%	735	100%	3,108	100%	
学 校 内	(5) ⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	1,335	56.3%	185	25.2%	1,520	48.9%
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	769	① 32.4%	95	② 12.9%	864	① 27.8%
	⑨スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	741	② 31.2%	116	① 15.8%	857	② 27.6%
	(6)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	1,038	43.7%	550	74.8%	1,588	51.1%
	(7) (5), (6)の合計	2,373	100%	735	100%	3,108	100%
(8)上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	856	36.1%	452	61.5%	1,308	42.1%	
(9)うち, 教職員から継続的な相談・指導等を受けていた実人数	843	35.5%	431	58.6%	1,274	41.0%	

(注)複数回答を可としている。上記の割合(%)は不登校生徒数に対する割合を示している。
(不登校生徒数:全日制2,373人, 定時制735人, 合計3,108人)

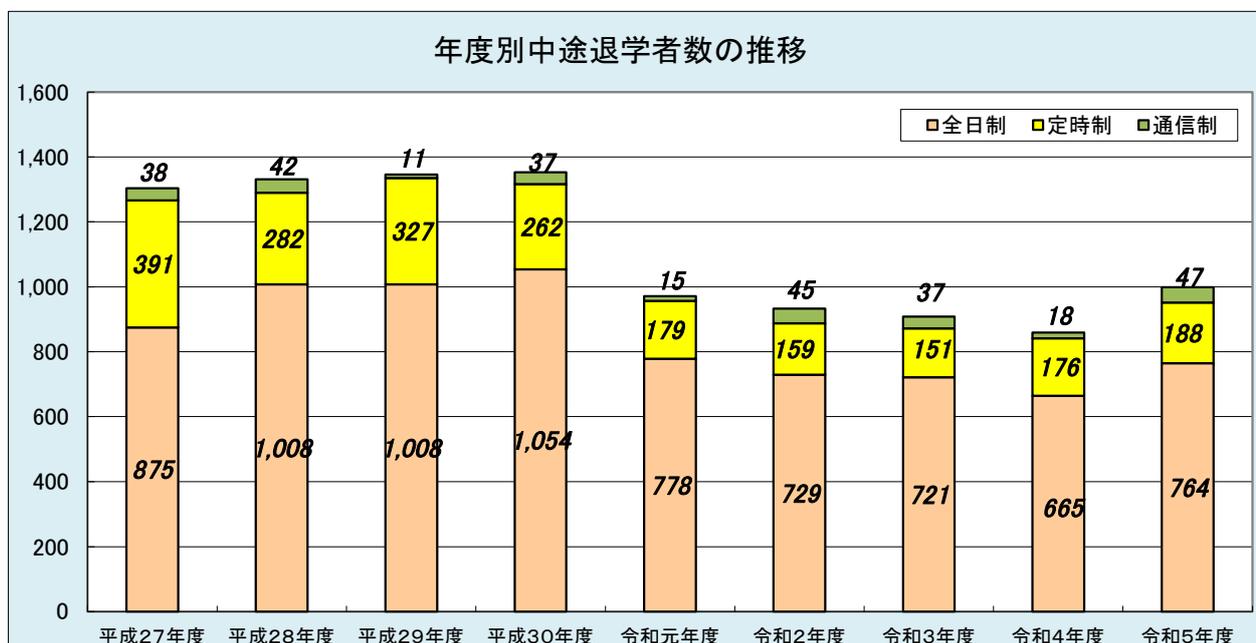
令和5年度 公立高等学校の中途退学者数等の状況(千葉県)

1-(1) 中途退学者数(在籍者数は、4月1日現在による)

	在籍者数(4/1現在)	中途退学者総数	前年度増減	中退率(%)	前年度比
全日制	85,796	764	99	0.89%	0.14%
定時制	2,482	188	12	7.57%	0.53%
通信制	1,052	47	29	4.47%	2.48%
合計	89,330	999	140	1.12%	0.19%

1-(2) 中途退学者(人数)・中途退学率(%)の推移

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比
全日制	中退者数	875	1,008	1,008	1,054	778	729	721	665	764	99
	中退率(%)	0.87%	1.00%	1.00%	1.06%	0.80%	0.76%	0.79%	0.75%	0.89%	0.14%
定時制	中退者数	391	282	327	262	179	159	151	176	188	12
	中退率(%)	12.67%	9.69%	11.43%	9.54%	6.72%	6.04%	6.07%	7.04%	7.57%	0.53%
通信制	中退者数	38	42	11	37	15	45	37	18	47	29
	中退率(%)	3.29%	3.91%	1.01%	3.54%	1.73%	4.10%	3.97%	1.99%	4.47%	2.48%
合計	中退者数	1,304	1,332	1,346	1,353	972	933	909	859	999	140
	中退率(%)	1.24%	1.27%	1.29%	1.31%	0.96%	0.94%	0.96%	0.93%	1.12%	0.19%



2-(1) 全日制学年別中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比	割合 (%)	割合 前年比
1	22,663	347	1.53%	0.29%	45.4%	2.5%
2	22,117	242	1.09%	0.05%	31.7%	-3.6%
3	21,680	76	0.35%	0.03%	9.9%	-1.5%
単位制	19,336	99	0.51%	0.15%	13.0%	2.6%
合計	85,796	764	0.89%	0.14%	100%	

(注)割合(%)は中途退学者の合計に対する割合を示している。

2-(2) 定時制・通信制中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比
定時制	2,482	188	7.57%	0.53%
通信制	1,052	47	4.47%	2.48%
合計	3,534	235	6.65%	0.95%

3 中途退学の理由別割合

中途退学の理由	全日制			定時制			通信制			合計			
	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	
学 業 不 振	86	11.3%	1.5%	28	14.9%	10.4%	0	0.0%	0.0%	114	11.4%	2.9%	
学校生活・学業不適応	456	59.7%	2.1%	79	42.0%	-15.4%	0	0.0%	0.0%	535	53.6%	-2.7%	
進路変更	別の高校への入学を希望	67	8.8%	1.6%	18	9.6%	-1.8%	0	0.0%	0.0%	85	8.5%	0.6%
	専修・各種学校への入学を希望	2	0.3%	0.0%	0	0.0%	-0.6%	0	0.0%	0.0%	2	0.2%	-0.1%
	就職を希望	66	8.6%	2.3%	22	11.7%	4.9%	0	0.0%	0.0%	88	8.8%	2.5%
	高卒程度認定試験受験を希望	16	2.1%	-1.8%	6	3.2%	1.5%	0	0.0%	0.0%	22	2.2%	-1.2%
	その他	8	1.0%	-5.5%	11	5.9%	-0.4%	47	100.0%	0.0%	66	6.6%	-1.8%
病 気 け が 死 亡	23	3.0%	0.3%	6	3.2%	-0.8%	0	0.0%	0.0%	29	2.9%	0.0%	
経 済 的 理 由	0	0.0%	-0.3%	1	0.5%	-0.1%	0	0.0%	0.0%	1	0.1%	-0.2%	
家 庭 の 事 情	19	2.5%	0.2%	8	4.3%	-0.8%	0	0.0%	0.0%	27	2.7%	-0.1%	
問 題 行 動 等	10	1.3%	-1.0%	8	4.3%	4.3%	0	0.0%	0.0%	18	1.8%	0.1%	
そ の 他 の 理 由	11	1.4%	0.5%	1	0.5%	-1.2%	0	0.0%	0.0%	12	1.2%	0.2%	
合 計	764	100%		188	100%		47	100%		999	100%		

(注1)上記の割合(%)は中途退学者数に対する割合を示している。

(中途退学者数:全日制764人, 定時制188人, 通信制47人)

(注2)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため, 合計と合わない場合がある。